

児島虎次郎（和服を着たベルギーの少女）1910（明治43）年 油彩 キャンバス 高梁市成羽美術館



光をえがき、命をかたどる
ベルギーと日本

新潟県立近代美術館開館30周年

Belgium
and Depicting the Lights and Modelling the Life
Japan

2023

9.16[土] - 11.12[日]

KINBI
30TH
Anniv.

BANBI
20TH
Anniv.

概要

戦前、パリ留学が主流であった中で、少数ですが、ベルギーに留学した芸術家がありました。画家の太田喜二郎と児島虎次郎、そして新潟県（旧中之島村）出身の彫刻家・武石弘三郎です。太田と児島は、ともにゲントの市立美術学校に通い、ベルギーの印象派の画家エミール・クラウスからも学びます。武石は、ブリュッセル王立美術学校を優秀な成績で卒業し、帰国後は肖像彫刻の第一人者として活躍しました。戦前の日本で「炭坑夫の彫刻家」として人気のあったベルギーの彫刻家、コンスタンタン・ムーニエの日本への紹介でも知られています。

本展では、この3人の作家と彼らに関連するベルギーや日本の作家の紹介に加え、当時の印刷物や展示などにも着目しながら、戦前の日本におけるベルギー美術の受容について探ります。

展示のみどころ

約140点の作品と資料により、戦前の日本におけるベルギー美術受容の様相を探る。

本展は、目黒区美術館で開幕し、高梁市成羽美術館へ巡回、当館が最終会場となります。3館はそれぞれベルギー留学の経験のある芸術家、太田喜二郎、児島虎次郎、武石弘三郎の作品を所蔵しています。太田と児島はベルギー印象派絵画を日本へもたらし、武石はベルギー人彫刻家ムーニエの作品を紹介しました。彼らの作品と活動を軸に、141点の多様な作品（油彩54点、彫刻20点含む）と豊富な資料により、戦前の日本におけるベルギー美術の受容について探ります。

画家の太田喜二郎、児島虎次郎、そして新潟県（旧中之島村）出身の彫刻家、武石弘三郎。

ベルギーを留学先に選んだ芸術家の活動と交流に注目。

パリ留学が主流であった戦前において、ベルギーを留学先に選んだ太田、児島、武石。太田は、武石の紹介により現地芸術家に弟子入りを果たし、太田と児島はゲントでともに学び切磋琢磨します。彼らはそれぞれがベルギー美術の紹介者であり、仲の良い友人同士でもありました。

光の描写が美しいベルギー印象派絵画から、ルネ・マグリットまで。ベルギー美術を味わう。

太田と児島が師事した、ルミニスム（光輝主義）の画家エミール・クラウスや、力強い労働者像が人気の彫刻家コンスタンタン・ムーニエ、戦前の日本で人気を博した官能的版画作品で知られるフェリシアン・ロップス、現在も人気の高いシュルレアリスムの画家ルネ・マグリット。二国間の交流を探る展示を通して、多彩なベルギー美術を味わうことができるのも、本展の魅力です。

展示構成

第1章 光をえがく：ベルギーの印象派絵画と日本

1 白馬会とウィッツマン

日本近代の洋画界を牽引した白馬会。同会の展覧会では海外作家の作品を展示することもあり、その中にはベルギー人画家、ロドルフとジュリエットのウィッツマン夫妻の絵画もありました。ロドルフ・ウィッツマンの作品と、中沢弘光による模写作品により、日本におけるベルギー印象派絵画受容の幕開けを紹介します。



太田喜二郎《赤い日傘》
1912（大正元）年
油彩・キャンパス 新潟大学蔵

2 太田喜二郎と児島虎次郎のベルギー留学

太田喜二郎は、師である黒田清輝の勧めによりベルギーに留学。児島虎次郎ははじめパリに向かいますが、馴染めず太田のいるゲントを訪れます。ここでは、二人が師事したジャン・デルヴァンと、ルミニズムの画家エミール・クラウスの作品を展示。そして太田と児島の留学中の作品や資料により、二人が切磋琢磨した軌跡をたどります。



エミール・クラウス《冬の果樹園》
1911（明治44）年
油彩・キャンパス 大原美術館蔵

3 日本の印象派

日本において印象派はどのように受容されていったのでしょうか。外光派の表現を日本にもたらした黒田清輝と久米桂一郎の作品、帰国後の太田と児島がベルギー印象派の影響を受けて描いた作品、太田・児島以外に印象派の影響を受けた画家として斎藤豊作と吉田苞の作品から、検証します。

第2章 命をかたどる：ベルギーの彫刻と日本

1 武石弘三郎のベルギー留学

新潟県南蒲原郡中之島村長呂（現長岡市）に生まれた武石弘三郎は、ブリュッセル王立美術学校にて彫刻を学び、優秀な成績を収めて卒業、帰国後は肖像彫刻の分野で活躍します。ここでは、武石が留学中のベルギーで隆盛を見せたアール・ヌーヴォーの影響を感じさせる大理石彫刻や、留学中の絵葉書資料などを展示します。



武石弘三郎《裸婦浮彫》
1939（昭和14）年
大理石 当館蔵



コンスタンタン・ムーニエ
《掘練工》制作年不詳
石膏着色 個人蔵

2 コンスタンタン・ムーニエの衝撃

戦前の日本において、ロダンに肩を並べる存在として広く紹介されたコンスタンタン・ムーニエ。炭坑夫をはじめとしたムーニエの力強い労働者像は、衝撃的に受け入れられ、その影響を受けた作品が数多く生まれました。荻原守衛、吉田三郎、藤井浩祐らの作品から日本におけるムーニエ・ブームの様相を紹介します。

第3章 伝える・もたらす：ベルギー美術の紹介

1 児島虎次郎によるベルギー美術の紹介

児島は画家として活躍しながら、パトロンであった大原孫三郎の命を受け、大原美術館のための作品収集に奔走します。児島が収集にたずさわったベルギーの作品や、児島の収集に協力したベルギー人画家との交流を紹介します。



ウジェーヌ・ラルマンズ《小径》
1918（大正7）年
油彩・キャンパス 大原美術館蔵

2 ベルギーと日本の友好の証：戦災と震災のチャリティー展

第一次世界大戦の戦火に見舞われたベルギー、関東大震災で壊滅的なダメージを受けた東京。この二つの苦難に際し、日本はベルギーに対し、ベルギーは日本に対し、チャリティー展を開催し、義捐活動を行いました。外交や国際交流の観点から、ベルギー美術の紹介を取り上げます。

3 フェリシアン・ロップス：官能と諧謔

官能的かつ諧謔的な画題の版画を多く制作したフェリシアン・ロップス。戦前の日本でロップスの版画は度々紹介され、人気を博していましたが、一方で画集の発行は二度発禁処分を受けています。その官能性ゆえ愛され、排除された、ロップスの版画を紹介します。



ルネ・マグリット《再開》
1965（昭和40）年 油彩・キャンパス
東京富士美術館蔵
© 東京富士美術館イメージアーカイブ/
DNPartcom

4 瀧口修造とルネ・マグリット

高い人気を誇るシュルレアリスムの画家ルネ・マグリットは、戦前の日本においてどのように受容されたのでしょうか。シュルレアリスムを積極的に日本に紹介した、詩人、批評家、画家でもあった瀧口修造の活動に着目します。

主な出品作家

■ 武石 弘三郎 たけいし・こうざぶろう

1877-1963

新潟県南蒲原郡中之島村長呂（現長岡市）に生まれる。上京し、東京美術学校に入学、はじめ木彫を学ぶが、1899年に新設された塑像科に転じる。1901年、同校卒業後ベルギーに留学。ブリュッセル王立美術学校に入学し、ジュリアン・ディレンスらから本格的な西洋彫刻技法を学び、優秀な成績を収める。約8年間におよぶ留学期間を経て、帰国後は、ベルギーで身につけた堅実な彫刻表現を用い、各界偉人の肖像彫刻を多数手がけた。

■ 太田 喜二郎 おおた・きじろう

1883-1951

京都市上京区に生まれる。上京し、東京美術学校西洋画科に入学。黒田清輝に師事する。1908年ベルギーに渡り、アントワープ王立美術学校で学ぶ。エミール・クラウスに師事し、点描による新印象派風の作風を身につけた。兄島とは同地にて親交を深め、交流は終生続いた。帰国後は郷里の京都で活躍し、文展や帝展に出品を重ね、後進の指導にあたった。

■ 児島 虎次郎 こじま・とらじろう

1881-1929

岡山県川上郡下原村（現高梁市成羽町）に生まれる。画家を目指し上京、東京美術学校西洋画科に入学し、黒田清輝、藤島武二らから指導を受ける。1908年渡欧。はじめフランスに滞在し、翌年よりベルギーに移る。太田喜二郎の紹介でアントワープ王立美術学校に入学し、ジャン・デルヴァン、エミール・クラウスから学ぶ。帰国後は倉敷に居住。制作の傍ら、支援者であった実業家大原孫三郎の命を受け、大原美術館のための作品収集に務めた。

関連イベント

イベントの詳細は、当館ホームページをご確認ください。

リレートーク「つながる！太田君と児島君と武石君」

滞欧米期の画家の作品を収集する目黒区美術館所蔵作家の太田喜二郎、地元出身として高梁市成羽美術館が館を挙げて顕彰する児島虎次郎、郷土作家として当館が所蔵する武石弘三郎。仲の良い友人同士でもあった芸術家の作品を所蔵する3館の学芸員により、リレートークを行います。

【日時】9月16日 [土] 14:00～15:30（開場 13:30）

【講師】目黒区美術館学芸員 山田真規子氏、高梁市成羽美術館学芸員 碓京子氏、当館学芸員 伊澤朋美

【会場】当館講堂 【定員】165名 【参加方法】申込不要、直接会場にお越しください 【参加費】 無料

美術鑑賞講座「武石弘三郎の作品を訪ねる」

中之島村長呂（現長岡市）出身の彫刻家・武石弘三郎は、ベルギー留学から帰国後、晩年に至るまで肖像彫刻やモニュメントの制作にたずさわりました。現地で見ることのできない作品も多く、スライドで作品を訪ねながら、武石の仕事を紹介します。

【日時】10月7日 [土] 14:00～15:30（開場 13:30）【講師】当館学芸員 伊澤朋美

【会場】当館講堂 【定員】165名 【参加方法】申込不要、直接会場にお越しください 【参加費】 無料

ミニレクチャー&作品実地見学会「友情の双像」

武石弘三郎のベルギー留学を支援した、兄・貞松と、外交官・堀口九萬一。二人は長岡の漢学塾とともに学んだ親友同士でした。二人の友情を讃え、武石により制作され、若宮神社（長岡市中之島）に設置された《友情の双像》を、ミニレクチャー後、現地にて見学します。

【日時】10月21日 [土] 10:00～12:00 【講師】当館学芸員 伊澤朋美

【集合場所、ミニレクチャー会場】中之島コミュニティセンター（長岡市中之島 800-1、アクセス方法は長岡市のホームページをご覧ください）

【見学場所】若宮神社（中之島コミュニティセンターから、貸切バスで移動します）

【定員】20名（先着順）

【参加方法】お電話にてお申込ください（TEL: 0258-28-4111 / 受付時間 9:00～16:00 / 受付開始 8月22日 [火] 9:00～）

【参加費】 無料

開催概要

名称: ベルギーと日本 ―光をえがき、命をかたどる
会期: 2023年9月16日(土)～11月12日(日)
開館時間: 9:00～17:00 《観覧券の販売は16:30まで》
休館日: 月曜日(祝日の場合は翌平日)

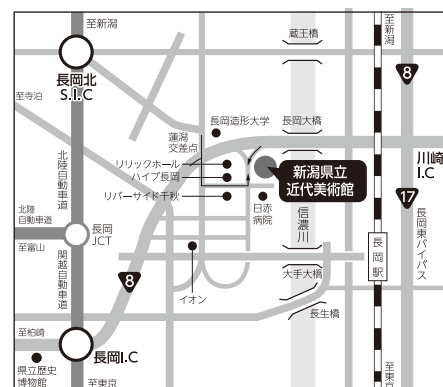
主催: ベルギーと日本展実行委員会、
新潟県立近代美術館
共催: 新潟日報社
助成: (一財)地域創造
後援: ベルギー大使館、新潟県教育委員会、
長岡市、長岡市教育委員会、長岡新聞社、
NCT、FM新潟77.5、FMながおか80.7

観覧料: [当日券]
一般 1,200円 (1,000円)
大学・高校生 1,000円 (800円)
中学生以下無料

※()内は有料20名様以上の団体料金
※障害者手帳をお持ちの方は観覧料が免除になります。受付で手帳をご提示ください。

会場: 新潟県立近代美術館
〒940-2083 新潟県長岡市千秋3丁目278-14 (HP <https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>)

交通案内: 新幹線・在来線: JR 長岡駅下車
長岡駅から バス:
・長岡駅大手口8番線
中央環状線「くるりん」内回り「県立近代美術館」下車(乗車約15分)すぐ
・長岡駅大手口2番線
センタープラザ・日赤病院方面行「日赤病院前」下車
長岡駅からタクシー: 大手口から乗車約15分
車:
・関越自動車道 長岡I.Cから約10分
・北陸自動車道 長岡北S.I.Cから約10分



開催中のコレクション展

コレクション展 第3期 2023年9月12日(火)～12月17日(日)

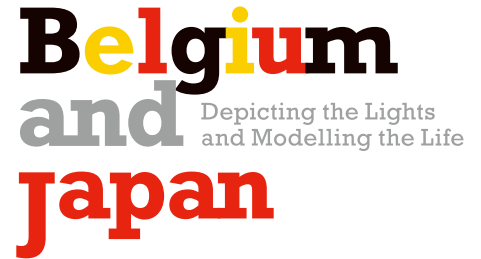
[展示室1] 近代美術館の名品 ―新収蔵品を中心に
[展示室2] 異国に渡った芸術家たち
[展示室3] 三芳悌吉 絵本の仕事 ―科学の眼差し

※ コレクション展をご覧になる場合、別途コレクション展観覧券が必要になります。

A vertical exhibition poster for 'Belgium and Japan'. At the top, it says 'Depicting the Lights and Modelling the Life'. The main image is a painting of a woman in a colorful kimono, likely by a Japanese artist. To the right, the text 'Belgium and Japan' is written vertically in large, bold letters. Below the painting, the dates '2023 9.16 [土] - 11.12 [日]' are displayed. At the bottom, there is a logo for 'NOM' (Niigata Prefectural Museum of Modern Art) and the slogan '光をえがき、命をかたどる' (Drawing light, modeling life). The poster also includes the text '新潟県立近代美術館開館30周年' (30th Anniversary of Niigata Prefectural Museum of Modern Art) and 'ベルギーと日本' (Belgium and Japan) written vertically on the left side.

FAX 専用送信票 0258 - 28 - 4115

新潟県立近代美術館 [担当] 長嶋、宮下 行



広報用画像データ・ チケットプレゼント申込書 (FAX 専用)

広報用に展覧会の画像 (JPEG データ) を用意しております。

掲載を希望される画像に チェックを入れ、必要事項にご記入の上、FAX でお申してください。

掲載・紙・誌・サイト名 (URL) :

貴社名・部署名 :

／ご担当者名 :

ご住所 〒

TEL :

／ FAX :

／ E-mail :

校了日 :

／発行・放送・配信予定日 :

視聴者・読者プレゼント用チケット (ご招待券、5 組 10 枚)

希望する

- 作品画像のご使用は、本展をご紹介いただける場合に限りです。本展終了後の掲載はできません。
- 作品画像をご使用の際は、[画像下キャプション] を必ずご記載ください。また、文字や他のイメージを重ねたり、トリミングをすることはできません。
- チケットプレゼントは作品画像、展覧会チラシ画像を 1 点以上掲載のうえ、本展をご紹介いただける場合に限りです。



1 児島虎次郎
《和服を着たベルギーの少女》
1910 年 油彩・キャンバス
高梁市成羽美術館蔵



2 エミール・クラウス
《冬の果樹園》
1911 年 油彩・キャンバス
大原美術館蔵



3 太田喜二郎
《赤い日傘》
1912 年 油彩・キャンバス
新潟大学蔵



4 武石弘三郎
《裸婦浮彫》
1939 年 大理石
新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵



5 コンスタンタン・ムーニエ
《攪錬工》
制作年不詳 石膏着色
個人蔵



6 ウジェーヌ・ラルマンヌ
《小径》
1918 年 油彩・キャンバス
大原美術館蔵



7 ルネ・マグリット《再開》1965 年
油彩・キャンバス 東京富士美術館蔵
© 東京富士美術館イメージアーカイブ / DNPartcom



8 展覧会チラシ画像

※クレジット等の確認のため、原稿の段階で確認させていただきたく思います。
※原稿の確認に 2~3 営業日を要します。時間に余裕をもってご連絡ください。
※また、後日掲載紙・誌を担当までお送りください。

▶ 画像データ、チケットプレゼントに関するお問い合わせ先: [担当] 長嶋、宮下

▶ 展覧会に関するお問い合わせ先: [担当] 伊澤、今井

TEL: 0258-28-4111 FAX: 0258-28-4115 E-MAIL: niigata-kinbi@theia.ocn.ne.jp